

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

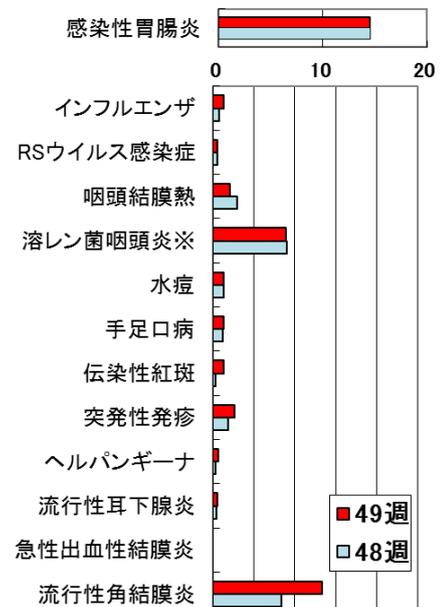
## 宮崎県第49週の発生動向

### 全数報告の感染症 (49 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。  
 4 類感染症：つつが虫病 5 例、日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：梅毒 1 例、百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	結核性胸膜炎	咳、呼吸困難
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		都城	50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感、食欲不振
			80歳代	女	—	頭痛、刺し口、発疹、頸部痛
		小林	80歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹
			80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
日本紅斑熱	日南	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	
5類	梅毒	延岡	40歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹
	百日咳	都城	10歳代	男	—	持続する咳
		高鍋	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

《前週との比較》



### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 861 人 (定点当たり 28.1) で、前週比 111% と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱である。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

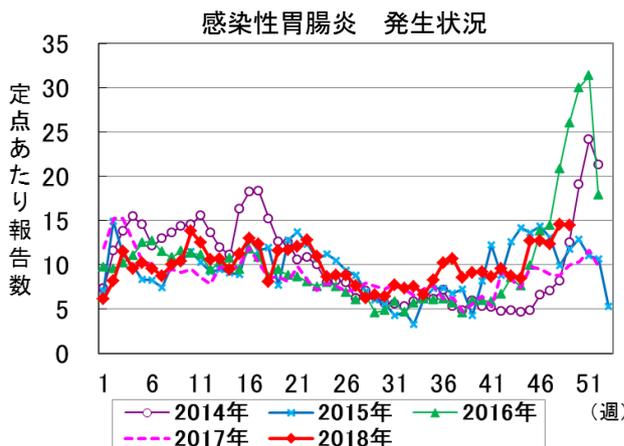
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は 522 人 (14.5) で、前週と同率で、例年同時期の定点当たり平均値\* (16.1) の 0.9 倍である。小林 (36.0)、日南 (21.3) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~4 歳が全体の約 5 割を占めている。

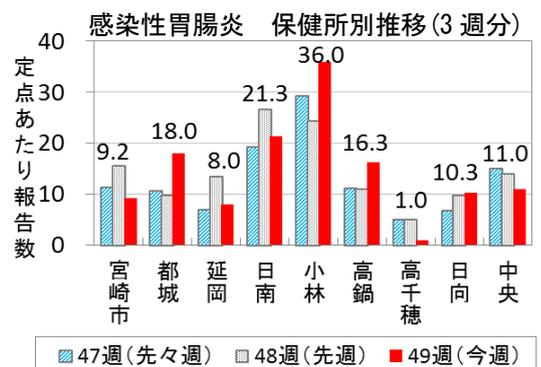
##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 128 人 (3.6) で、前週比 98% とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値\* (2.4) の約 1.5 倍である。延岡 (8.5) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 3~8 歳が全体の約 7 割を占めている。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値



定点あたり報告数  
 ※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

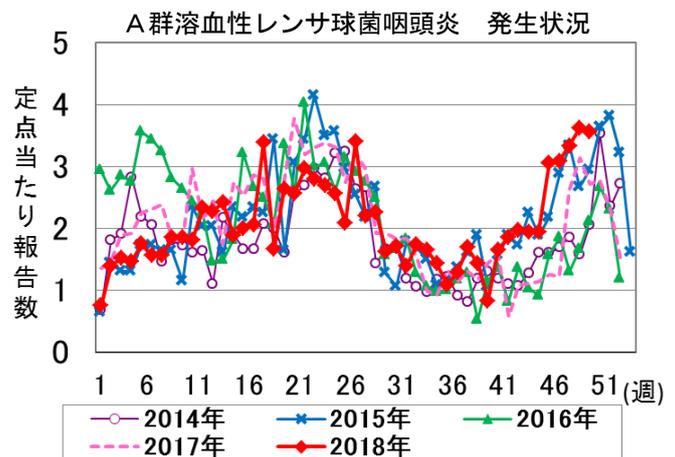


★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。  
0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭熱結膜炎(3.0),A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.5),水痘(2.3),流行性角結膜炎(9.0)
日南	感染性胃腸炎(21.3)
小林	感染性胃腸炎(36.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし



＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 48 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	364 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	25 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	7 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	56 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	30 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	38 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	10 例	侵袭性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵袭性肺炎球菌感染症	54 例	水痘(入院例)	8 例	梅毒	98 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	百日咳	285 例	風しん	118 例
	麻しん	3 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 126%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患はヘルパンギーナである。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 8,738 人(2.8)で前週比 115%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(2.5)の約 1.1 倍である。北海道・福岡県(各 4.4)、埼玉県(4.3) 鳥取県(4.1)からの報告が多く、年齢群別では 4～7 歳が全体の約 5 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 2,747 人(0.87)で前週比 134%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.26)の約 3.4 倍である。宮城県(6.1)、東京都(2.2)、岩手県(2.0)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は 24,907 人(7.9)で前週比 132%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値\*(9.8)の 0.8 倍である。大分県(18.7)、福岡県(14.8)、宮崎県(14.5)からの報告が多く、年齢群別では 1～4 歳が全体の約 5 割を占めている。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

## 月報告対象疾患の発生動向 <2018年11月>

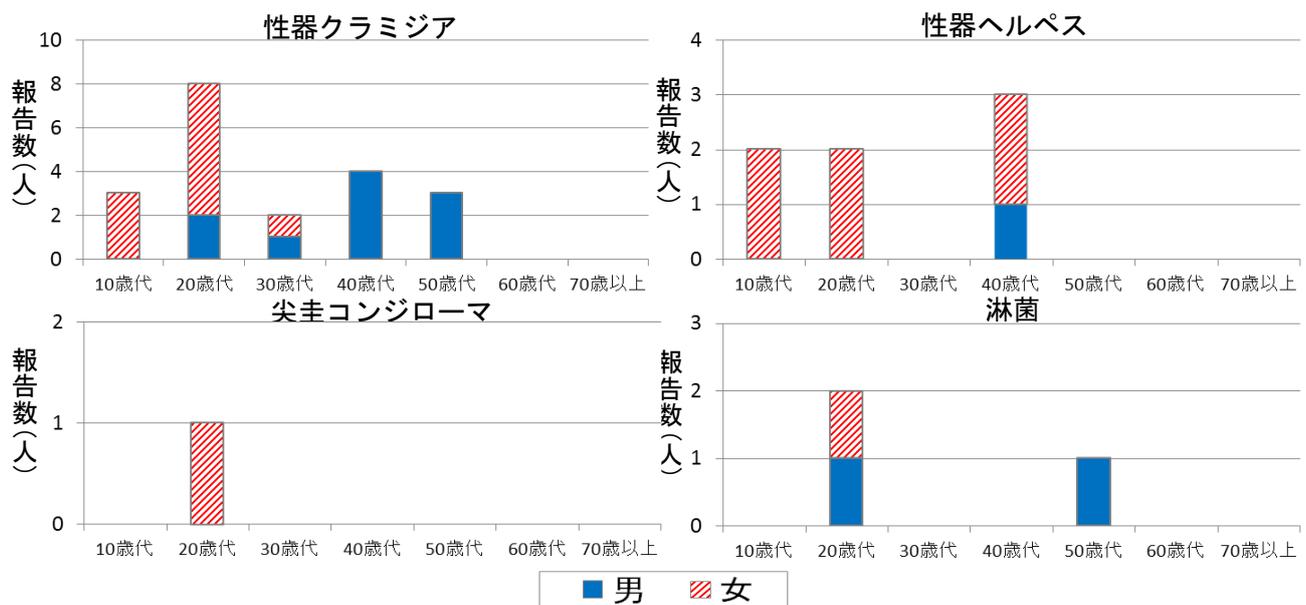
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比119%と増加した。また、昨年11月(2.7)の89%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約1.1倍、昨年11月の約0.7倍である。  
20歳代が全体の約4割を占めている。(男性10人・女性10人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の1.4倍、昨年11月の約2.3倍である。(男性1人・女性6人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年11月と同率である。(女性1人)(前月報告なし)
- 淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年11月の約0.8倍である。(男性2人・女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：983

定点医療機関からの報告総数は4,186人(4.3)で、前月比96%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,284人(2.3)で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症761人(0.77)で前月比99%、尖圭コンジローマ480人(0.49)で前月比89%、淋菌感染症661人(0.67)で前月比93%である。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人(2.0)で、前月比88%と減少した。また、昨年11月(3.6)の56%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数14人(2.0)で、前月の約0.9倍、昨年11月の約0.6倍である。70歳以上が全体の約7割を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,505人(3.2)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,349人(2.8)で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症148人(0.31)で前月比107%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比67%である。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第49週(12月03日～12月09日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	18	32	19		9	4					
	定点あたり	0.31	0.54	1.19	0.00	1.29	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	7	7		4	1	1				1	
	定点あたり	0.20	0.19	0.00	0.67	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	41	29	3	4	12	5		2		3	
	定点あたり	1.17	0.81	0.30	0.67	3.00	1.67	0.00	0.50	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	127	128	29	22	34	13	1	16	1	8	4
	定点あたり	3.63	3.56	2.90	3.67	8.50	4.33	0.33	4.00	1.00	2.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	509	522	92	108	32	64	108	65	1	41	11
	定点あたり	14.54	14.50	9.20	18.00	8.00	21.33	36.00	16.25	1.00	10.25	11.00
水痘	報告数	18	18	1	2	9		1	2		3	
	定点あたり	0.51	0.50	0.10	0.33	2.25	0.00	0.33	0.50	0.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	17	19	9	1	5			2		2	
	定点あたり	0.49	0.53	0.90	0.17	1.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	18	9	1	3	5					
	定点あたり	0.14	0.50	0.90	0.17	0.75	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	38	15	4	6	3	2	4		2	2
	定点あたり	0.74	1.06	1.50	0.67	1.50	1.00	0.67	1.00	0.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	9	4	1	2		2				
	定点あたり	0.11	0.25	0.40	0.17	0.50	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	8	2	2	1	3					
	定点あたり	0.17	0.22	0.20	0.33	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	32	19	4	9						
	定点あたり	3.33	5.33	6.33	2.00	9.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～49週)

2類感染症	結核	153例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	46例(5)	デング熱	1例	日本紅斑熱	19例(1)
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	6例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14例
	急性弛緩性麻痺	4例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘(入院例)	1例	梅毒	7例(1)
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	4例	百日咳	283例(2)
	風しん	3例				

( )内は今週届出分、再掲